

【調査の趣旨・概要】

1 調査の趣旨

新型コロナウイルス感染症の流行が、ひとり親家庭の子どもや保護者にどのような影響を及ぼしているかを調査するために実施

2 調査の概要

(1) 調査対象者

県内児童扶養手当受給者 約12,000世帯

(2) 調査内容

仕事の変化／保護者や子どもの生活、親子関係の変化／子どもの教育・学習面の影響／現在困っていること／1年後の生活の見通しなど

(3) 調査方法

児童扶養手当の現況届の提出を促すために対象者に送付する通知書等に調査実施にかかるチラシを同封

(4) 回答方法

パソコンやスマートフォンから「青森県電子申請・届出システム」にアクセスし、無記名入力するアンケート調査

(5) 調査期間

各福祉事務所でのチラシ配布時（7月初旬）～9月4日

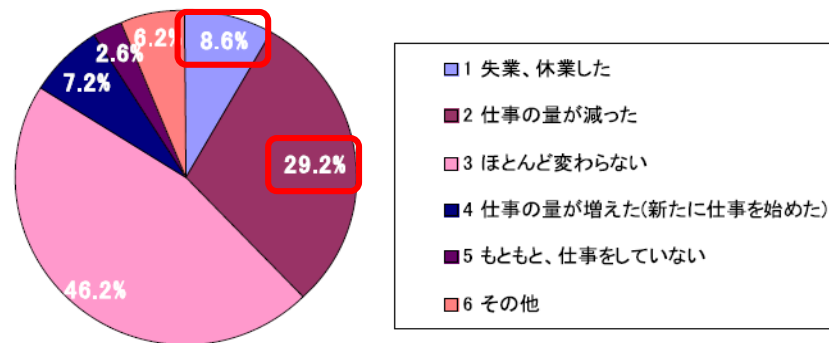
(6) 回収件数（回収率）

918件（約7.6%）

【主な調査結果】

新型コロナの影響による仕事の変化

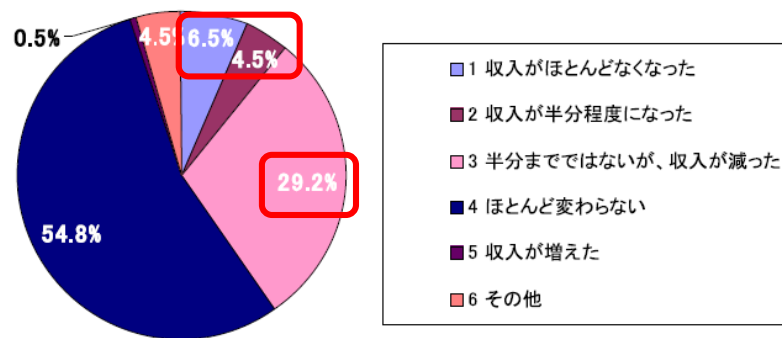
・新型コロナの影響で仕事に変化はありましたか



「失業、休業した」と答えた者が8.6%、「仕事の量が減った」と答えた者が29.2%で、合わせて1/3以上の者が仕事量の減として影響を受けている。

新型コロナの影響による収入の変化

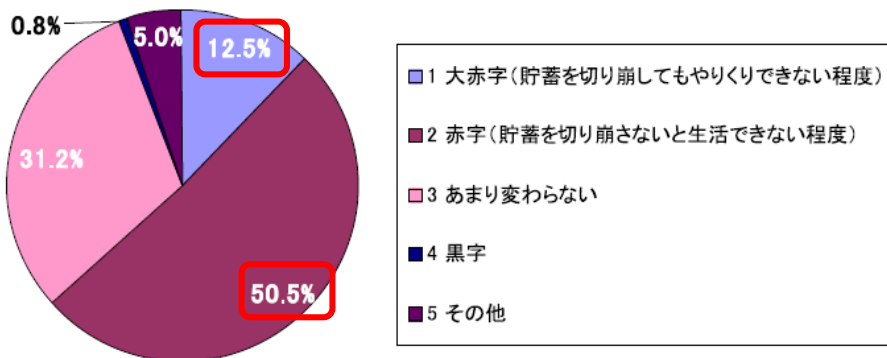
・以前と比べて収入は変わりましたか



「収入がほとんどなくなった」と答えた者が6.5%、「収入が半分程度になった」と答えた者が4.5%、「半分までではないが、収入が減った」と答えた者が29.2%で、合わせて約4割の者が、収入の減として影響を受けている。

今年の家計の収支見込み

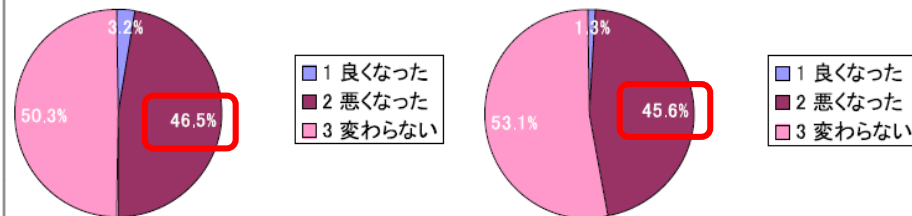
・今年の家計の収支見込みはどうか



「赤字(貯蓄を切り崩さないと生活できない程度)」と答えた者が50.5%で最も多く、「大赤字(貯蓄を切り崩してもやりくりできない程度)」の12.5%と、合わせて**6割強の者が収支は赤字と見込んでいる**。

新型コロナの影響による子どもの生活の変化

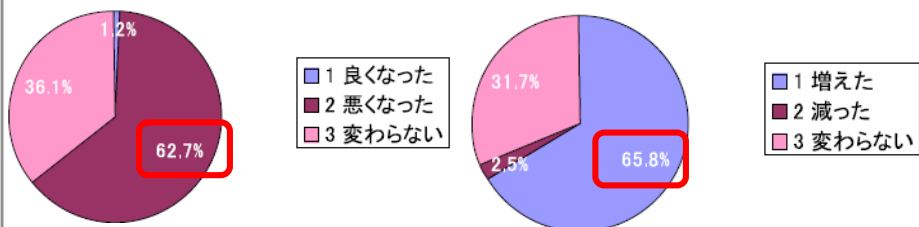
・子どもの生活リズム(早寝早起き・生活習慣など) ・子どもの精神状態(イライラや落ち込み)



子どもの生活リズムについては、「悪くなった」と回答した者が46.5%、子どもの精神状態については、「悪くなった」と回答した者が45.6%である。

新型コロナの影響による保護者の生活の変化 ・親子関係の変化

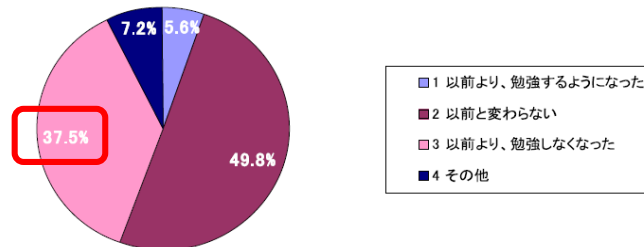
・自分自身の精神状態(イライラや落ち込み) ・子どもの世話をすること(食事の支度など)



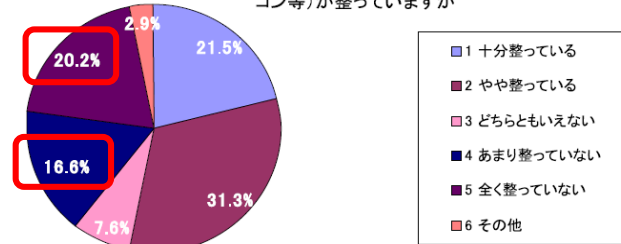
保護者の精神状態については、「悪くなった」と回答した者が62.7%と最も多い。また、子どもの世話をすることについては、「増えた」と答えた者が65.8%で最も多い。

学校休業による子どもの教育・学習面への影響

・学校休校の間、勉強態度に変化はありましたか



・ご自宅では、オンライン授業の環境(ネットで動画が見られるパソコン等)が整っていますか



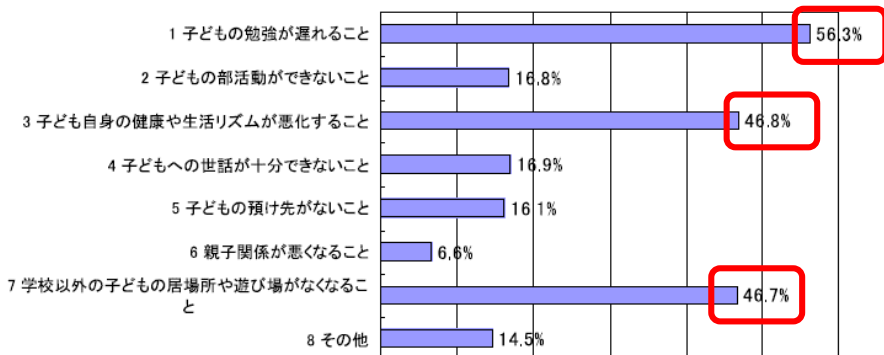
学校休校の間、「以前より勉強しなくなった」と答えた者が37.5%である。また、**自宅でオンライン授業を受ける環境について、「全く整っていない」が20.2%、「あまり整っていない」が16.6%と1/3強が整っていない環境にある**。

子どもに関して困っていること等

・子どもに関して困っていること、不安に感じていること

(複数選択)

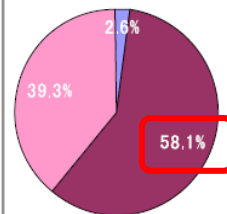
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0%



「子どもの勉強が遅れること」が56.3%と最も多く、次いで「子ども自身の健康や生活リズムが悪化すること」が46.8%、「学校以外の子どもの居場所や遊び場がなくなること」が46.7%となっている。

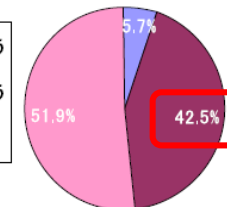
1年後の生活の見通し

・経済状態



■ 1 良くなっていると思う
■ 2 悪くなっていると思う
■ 3 どちらともいえない

・子どもの学習環境



■ 1 良くなっていると思う
■ 2 悪くなっていると思う
■ 3 どちらともいえない

経済状態については、「悪くなっていると思う」と回答した者が58.1%で最も多い。

また、子どもの学習環境については、「どちらともいえない」が51.9%と最も多く、42.5%が「悪くなっていると思う」と回答している。

【調査結果のまとめ】

経済状況

新型コロナの影響により、1/3以上の家庭において仕事量が減少し、約4割の家庭において収入が減少している。また、6割強の家庭においては、今年の家計の収支は赤字と見込んでいる。

子どもの教育・学習の状況

自宅でオンライン授業を受ける環境について、1/3強の家庭において環境が整っていない。

1年後の生活の見通し

6割弱の家庭において、1年後の経済状態は悪くなると考えている。

ひとり親家庭においては、経済的にも生活面においても新型コロナの影響を大きく受けて困難が生じている。その状況が長期化することで危機的な状況になる恐れがある。